

**製品名: TBR1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86892**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.15mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:5000-1:50000,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:74 kDa; Observed MW:74 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TBR1
別名	TBR-1; TES-56
遺伝子ID	10716
SwissProt ID	Q16650
免疫原	ヒト TBR1 の合成ペプチド

**背景**

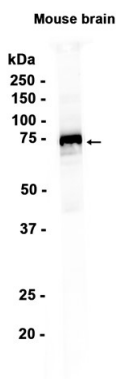
この遺伝子は、共通の DNA 結合ドメインである T ボックスを共有する保存された遺伝子ファミリーの一員です。T ボックス遺伝子

は、多くの発生過程の制御に関与する転写因子をコードしています。マウスでは、この遺伝子の相同遺伝子は脳皮質、海馬、扁桃体、嗅球で発現しており、神経細胞の移動と軸索投射に重要な役割を果たすと考えられています。マウスでは、このタンパク質の C 末端領域が、カルシウム/カルモジュリン依存性セリンタンパク質キナーゼのグアニル酸キナーゼドメインとの結合に必要かつ十分であることが明らかにされています。[RefSeq 提供、2015 年 12 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



TBR1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。